

北辰 13期生
139回 歩こう会
2019 10 1

フォト・プレス

茨木市中村町
畝狭恒雄
072-633-6198

一筆旅行

初秋の丹波路駆け抜ける

10月1日午前10時JR大阪駅中央改札口前に集合。
今日の参加者は、坂野さん、岡田さん、谷村さん、向井さんと畝狭の5人神戸線の立花までの乗車券を買い、4番ホームから丹波路快速篠山口行きに乗車、出発。

大阪ー尼崎ー宝塚ー三田ー篠山口ー谷川（福知山線）ー日本へそ公園ー西脇市ー加古川（加古川線）ー明石ー三宮ー芦屋ー立花ー尼崎ー大阪

大阪駅を出発して1時間。もうすぐ終点篠山口です。車窓には収穫間際の黄金色の穂波に負けじと深紅の彼岸花の群生が咲き誇っており、誰にでも懐かしい原風景が流れて行きます。

車中、この景色が見たくて一人神戸からやって来た年配のご婦人にもお会いしました。列車は終点篠山口に到着。隣のホームの福知山行きに乗り換えて谷川まで行きます。



いつ見ても懐かしい彼岸花

列車が下滝駅付近に差し掛かると篠山川の奇岩、断壁、深淵が溪谷の緑と調和して景勝地と言われる川代溪谷が車

窓から覗かれました。



川代溪谷

また、この地で2006年恐竜の化石が発見され、丹波竜と親しまれています。



加古川線西脇市行き

谷川駅では支線加古川線の西脇市行きの電車が待つていました。出発は32分後の12時10分です。車内でゆつくり弁当を開きました。1両編成ですが車輛トイレもついています。

電車は定刻通りに発車。

西脇市は東経135度、北緯35度が交差し「日本へそ公園」が整備され週末は多くの人で賑わっています。



日本へそ公園駅

懸念された天候も快晴で、初秋の丹波路を満喫しました。



もうすぐ加古川



車内で昼食済ませて